

THE WEEKLY NEWS OF EAST KISARAZU



国際ロータリー第2790地区
木更津東ロータリークラブ
2023-24年度

●例会日 毎週水曜日 PM12:30~1:30 ●例会場 オークラアカデミアパークホテル TEL 0438-52-0111
●事務局 木更津市朝日1丁目2-29 シグママンション朝日B棟105号 TEL 0438-25-0716 FAX 0438-25-0718

2023-24年度国際ロータリーテーマ 世界に希望を生み出そう CREATE HOPE in the WORLD

第26回例会 NO. 2635

2024年1月24日(水)

板谷優作会員のおすすめ

内堀食堂



左上の写真は「アジフライ定食」。店舗住所とコメントは週報の最後で！

◆出席 会員44名 ◆出席率 64.28%
出席27名 ◆修正前出席率 64.28%
欠席17名 ◆修正後出席率 76.19%

◆欠席者【敬称略】
青木・石井・江崎・藤野・加藤・金見・叶川
近藤・阪中・嶋津・四宮・鈴木(秀)・鶴岡
林田・宗像

◆メイクアップ【敬称略】

- ・ 1/20 第4回PYLA実行委員会会議
石田
- ・ 1/18 第5グループ会長・幹事会
堀内
- ・ 1/8 RLIパートシリーズセッションチーム
1/17 "
石田・松岡

ホームページ <https://kisarazueast-rc.jp>

木更津東ロータリークラブ

会 長 堀 内 正 人
幹 事 松 岡 邦 佳
編 集 佐 藤 優 希

国際ロータリー第2790地区

R I 会長 ゴードン R. マッキナリー
地区ガバナー 鵜 沢 和 広
ガバナー補佐 野 村 進 一

■司会進行

S. A. A. 山田修平会員



◆点鐘 12時30分

堀内正人会長

◆Rソング斉唱

「手に手つないで」

◆四つのテスト

渡邊慎司会員



◆R財団表彰

堀内正人会長

◇第5回ポールハリスフェロー 小林裕治会員



◆私の記念日祝い

◇渡邊元貴会員 (1/17)



◆ゲスト・来訪ロータリアン紹介

堀内正人会長

◇2790 地区地区社会奉仕委員会

委員長 中村吉政様



◇鈴木克己会員 (1/18)



浅野文夫様

◆会長挨拶

堀内正人会長



皆様こんにちは。

まずは報告です。先週木曜日に第5グループの会長幹事会が行われ、IMについて協議がされ、内容が確定しました。本年度のIMは例会扱いとしておりますのでご出席をお願いいたします。

日程は3月2日(土)13時45分から、場所はアカデミアホールです。アグネス・チャンによる基調講演の後は、日本製鉄君津吹奏楽団によるコンサートがあります。ここまでの参加費は無料です。終了後、ホテルに移動して懇親会が行われます。これの会費は1万円です。クラブで予算を取っていないので全額受益者負担となりますが、ご参加をお願いいたします。

さて、私は次年度も地区の財団委員会に出ます。財団は6年目になります。先週の金曜日に新旧合同委員会が開催されました。財団は覚えることが多いので、半年前のこの時期から新年度がスタートするのですね。次年度から佐藤委員長も地区財団委員会に出る、ということになりましたので、今回は2名で行ってきました。佐藤さんは「財団奨学生・学友委員会」という地区補助金やグローバル補助金を利用した奨学生に対する募集と審査そして留学後の支援を行う委員会に出ることになりました。若い佐藤さんを立派なロータリアンに、そして最短コースでガバナーまで導くような気持ちで頑張ります。

さて、今月1月は職業奉仕月間ですので、ちょっと真面目な話をします。皆さんは「ロータリークラブに入って何が良かったですか？」と聞かれた際

に、多くは「色々な年齢や職業の方々との交流を通じて親睦を深めることができた」という回答になると思います。確かにロータリーは親睦が基本とされます。しかし、異業種交流や親睦を基本としている団体はロータリー以外にも数多く存在しております。では、ロータリーにしかないロータリーの特色とは何でしょうか。それは、「The ideal of service 奉仕の理念」という人生哲学の存在です。この理念はロータリアンであればどこかで聞いたことがある2つの言葉で言い表されます。

「Service above self 超我の奉仕」

「One profits most who serves best 最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」

です。「超我の奉仕」とは利他と利己について調和の心を持つこと、「最もよく奉仕する者～」は他人を思いやり、他人のために尽くす心を持つこと、を意味します。

ロータリーとはこの2つの言葉で言い表される「奉仕の理念」を常に心に置いて、自分自身や仕事はもちろん、自分に関係する全てについての向上を目指す運動と言えます。この人生哲学の存在が他の親睦団体にないロータリーならではの特色です。

11月の山田PDGの壮大なスケールの卓話は、1905年にポールハリスがシカゴでロータリークラブを創立したところから始まり、1923年のセントルイス国際大会での「決議23-34」の紹介で時間が来たので終わりましたが、この「決議23-34」こそがロータリーの奉仕の理念を示した唯一の文書であります。今更、「決議23-34」かよ、という感もあるかもしれませんが、ロータリーの奉仕の理念を理解するには、やはり「決議23-34」を理解することが必要です。

「決議23-34」が出された理由としては、当時のロータリアンは二派に分かれて対立していたという背景があります。親睦や自己研鑽を通じて奉仕の心を形成するのがロータリーで、奉仕活動は個人の立場で行うべきとする考え方(理念派・理論派)と、奉仕の心は実際に行動しなければ無意味であって、その実践はクラブで行うべき、という考え方(実践派)の二派が対立しておりました。

そこで、理論と実践はどちらも大切にロータリーを動かす両輪だ、としたのが1923年の決議34号であります。これらの対立の解決策が明確に示されており、そこには、ロータリーの「奉仕の理念」が明確に示され、ロータリークラブの在り方や、全ての奉仕活動の指針が示されており、ロータリーとは何か、ロータリーにおける奉仕活動はどうあるべきか、の大原則を知ることができます。

第1項では「ロータリーとは何か」

第2項では「ロータリークラブとは何か」

第3項では「国際ロータリーとは何か」

第4項では「ロータリーの奉仕とは何か」

第5項では「クラブと国際ロータリーとの関係は」

第6項では「クラブの奉仕活動の選択基準とは」

「決議23-34」は手続要覧に「社会奉仕に関する1923年の声明」として掲載されております。ベテランの方もそうでない方も、ロータリアンであれば手に取って内容をご確認いただくことをお奨めします。

以上で本日の会長挨拶・報告といたします。

◆幹事報告

松岡邦佳幹事



1. 幹事報告

- 1) ガバナー事務所より「コーディネーターNEWS2月号」が届いておりますので回覧いたします
- 2) ガバナー事務所より「12月期MCRレポートのお知らせ」が届いておりますので回覧いたします。
- 3) 先週、「令和6年能登半島地震支援金」を回

覧させて頂きました。募金総額は65,150円でした。ご協力ありがとうございました。

2. 他クラブからのお知らせ

- 1) 君津RCより「例会変更のお知らせ」が届いておりますので回覧いたします。
- 2) 君津RC・上総RCより「週報」が届いておりますので回覧いたします。

3. その他のお知らせ

- 1) 一般社団法人アジア婦人友誼会より「第46回アジアの祭典・チャリティーバザー」のご案内が届いておりますので回覧いたします。
- 2) 児童養護施設 野の花の家より「各事業所のご報告」が届いておりますので回覧いたします。

4. 回覧

- ・ ガバナー事務所より「コーディネーターNEWS2月号」
- ・ ガバナー事務所より「12月期MCRレポートのお知らせ」
- ・ 君津RCより「例会変更のお知らせ」
- ・ 君津RC・上総RCより「週報」
- ・ 一般社団法人アジア婦人友誼会より「第46回アジアの祭典・チャリティーバザー」のご案内
- ・ 児童養護施設 野の花の家より「各事業所のご報告」

■委員会報告

◆ニコニコボックス報告

親睦出席委員会 宮寺順子委員長



◇堀内正人会場

本日は 2790 地区社会奉仕委員長中村様より卓話をいただきます。よろしくお願いします。

◇鈴木克己会員

金婚式まであと 2 年になりました。2 人で元気に迎えられればと思います。

◇渡邊元貴会員

中村吉政地区社会奉仕委員長のご来訪に感謝申し上げます。本日は卓話を宜しく願いいたします。又、先週結婚記念日に美しい花束をいただきました。妻も大変喜んでおりました。ありがとうございます。

◇吉田和義会員

中村さん、ご無沙汰しております。本日は卓話よろしくお願いします。

◆出席報告

官寺順子委員長

■例会アワー

社会奉仕プロジェクト委員会 渡邊元貴委員長



◇卓話者 地区社会奉仕委員会

委員長 中村吉政様



テーマ

「第 2790 地区奉仕活動実施状況報告」

今年度、第 2790 地区 奉仕プロジェクト統括委員会の社会奉仕委員会の委員長を仰せつかっております、勝浦 RC 所属の中村です。

それでは、早速卓話に入ります。

本日、私が皆様にお伝えする奉仕活動事例ですが、『いい奉仕活動は、積極的に真似しましょう！！』これを念頭に置いて、話を聞いていただきたいなあと思います。地区内を見渡すと、様々な奉仕活動が行われています。例えば地域やクラブの規模が違えども、必ずや自クラブの今後の活動のヒント・参考となる内容がたくさんあると思います。

とはいえ、木更津東 RC さんは、今年度タイ国 バンコクの病院に医療機器を寄贈するプロジェクトをグローバル補助金を活用して奉仕活動を遂行されておるなど、素晴らしい奉仕活動が実施できておりますので、皆様のお役に立てる活動事例をご紹介できるかはわかりませんが、皆様方の少しでも参考になっていただけたら幸いです。

地区内の奉仕活動事例に際して、今年度始めてすぐの 7 月、クラブオールでアンケートを取らせていただき、回答クラブ数 60 クラブと、全体の 73.2% のクラブから回答をいただきました。回答にご協力いただきました事を御礼申し上げます。ありがとうございました。

始めに、あなたのクラブでは、奉仕活動が活発に行われていますか？の質問をさせていただきました。この問いに対して、実に全体の 70% 42 のクラブが『ハイ』の回答でした。『イエ』は 3 クラブだけでして、『どちらでもない』が 15 クラブです。

この『イエ』と『どちらでもない』と回答されたクラブの理由と、その課題・障害などを聞いてみましたら、主に会員数の減少による予算不足、また会員数減少に加えて会員の高齢化などによるマンパワー、実際に奉仕活動する人数の不足などがあげられました。他には、活動のマンネリ化や新たな活動を模索する意欲がな

い、行政や学校・教育委員会との連絡調整が難しい、また地域で本当に必要としている活動なのか疑問だ。そしてコロナにより、活動を休止していて、そのまま活動がストップしている中で、その会員各人の奉仕活動への意欲が薄くなってきてしまっている、その意識の再燃が課題であると回答されたクラブも複数ありました。

一方、奉仕活動が活発に行われていると回答されたクラブは、といますと、

地域との連携が取れている、委員会活動が盛んで、すべての会員が活動に参加している、会員クラブが奉仕活動に対する意識が高い（クラブ内研修ができています）という意見も寄せられました。他人のことを思いやり、他人のために尽くす奉仕活動とはいえ、実は奉仕する側であるロータリアン自身も生き生きと活動できているクラブこそが活発な奉仕活動ができていますクラブなのだと感じました。

さてさて、お待たせしました。いよいよ第2790地区内の奉仕活動事例紹介に移ります。今年度の地区奉仕プロジェクト委員会別に、社会奉仕部門と国際奉仕部門、青少年奉仕部門に分けてみました。

始めに、社会奉仕部門ですが、植樹、河川等の美化活動、献血推進運動や医療施設等への寄贈が挙げられました。

この中で、多くのクラブが比較的取り組みやすい活動の、『植樹／植栽整備／その維持管理』において、ロータリー独自で行うのではなく、地元の人を巻き込んで！！と申しますか？ 地元・地域の人と一緒に共同で活動することを積極的に働きかけているクラブもありました。これは、お隣の上総RCさんですの活動ですが、こちらは、地元の高中生と一緒に花を植樹し、その後も継続的に一緒に維持管理している実例です。共同活動により地元の高中生との距離も近づき、絆が深まると同時に、その高校生には地元愛・地元への愛着をわいてもらいたいとの願いをこめた活動になっているそうです。

いずれも、実際にクラブで実施された奉仕活動ですので、もし興味ある活動のもう少し詳しく

聞きたいようでしたら、そのクラブをご紹介させていただきますので、お申し出下さい。

次に国際奉仕部門です。国際奉仕については、既に実施しているクラブや、海外にパイプがあるクラブはさほど難しくないとおもっても、特に海外にそのような繋がりが無いクラブにとりましては、とてもハードルが高く感じると思います。実際に、同じ2790地区内で行われている国際奉仕活動についてご紹介いたします。診療施設リノベーション工事（ケニア）、浄水設備寄贈（スリランカ）、ガン検査機寄贈（タイ）や安全な野球環境を提供（フィリピン）などが挙げられます。

この中で、もう少し具体的に活動した内容をご紹介します。フィリピンダバオ市の野球が大好きな少年少女に安全な野球環境を提供するプロジェクトです。野球が大好きな少年少女に安全な野球環境を提供するプロジェクトは、東南アジアの7000を超える島国フィリピン諸島の南側ミンダナオ島の最大都市、フィリピン全体ではマニラ・セブに続く、第3の都市、ダバオ市の野球が大好きな少年少女に安全な野球環境を提供するプロジェクトです。ダバオ市は、ドゥテルテ大統領の出身地であり、人口はおよそ180万人日本でいうと札幌とか福岡に匹敵すると大都市です。こんな大都市にもかかわらず、非常に恵まれていない、むしろ安全ではない環境でスポーツをする少年少女が多いことが分かり、この子供たちの未来のために、このプロジェクトをすることになりました。

砂利だらけのグラウンドを清掃したり、グローブ、キャッチャーマスクやレガースの寄贈を行うなどして安全な野球環境を整備したそうです。

そうは言っても、地区内を見渡すと、木更津東RCさんのように単独でグローバル補助金にチャレンジできているクラブはそう多くはないです。国際奉仕は、なかなか取り掛かりが難しいと感じているクラブも多いようですが、国際奉仕活動を上手に実践されているクラブからのアドバイスです。

国際奉仕への取り掛かり、きっかけとしては、既に交流している海外姉妹クラブとの連携、クラブ会員(またはその家族)がいる国(出身国)からスタートすると奉仕活動に発展しやすいとの事でした。しかし、それでもまだなおハードルが高いと感じているクラブは、是非、9/24 地区奉仕プロジェクトセミナーにおいて、地区の国際奉仕委員長からご説明があります我が2790地区が推奨する『TSUNAGU2790』をご検討いただき、こちらから取り組んでみてはいかがでしょうか！

最後に青少年奉仕ですが、この青少年への奉仕活動が今回のアンケートの中で最も多かった内容でした。

青少年奉仕活動については、その活動内容によって6つに分けられます。

- 各団体への協賛 ●各団体等への支援活動・物資寄贈 ●青少年向けイベントの開催
- 青少年向けの授業・勉強会の実施 ●青少年向けの表彰 ●ロータリーで行われている様々な青少年奉仕事業への参加・関係団体との交流 などがあります。

主な活動事例は、子ども食堂への協力・援助、クラブ独自のチャリティーゴルフ大会の開催、東日本大震災語り部などです。

この中で、他のクラブでも参考になるであろう奉仕活動事例をいくつかご紹介します。

●子ども食堂にて季節の行事に合わせて雰囲気を出す工夫をした活動です。

●東日本大震災 語り部プロジェクトです。本来ならば、語り部の方に来ていただいて、大震災の被災状況をご紹介していただく予定でしたが、コロナ禍により、オンラインでこのプロジェクトを実施しました。オンラインという事もあり、会場をいつも授業している各教室で行ったため、当初参加を予定していた児童生徒よりも多くの子供達が参加することができました。またリアルタイムで意見交換できたので、活発な意見交換ができ、大変実りあるプロジェクトになりました。

最後に、ロータリアンならではの奉仕活動として、様々な会員の職業スキルを活かした活動事例をご紹介します。弁護士や社労士の方の協力の下で「街頭無料相談会」を行ったり、防犯あんしん教室やそろばん博物館の協力の下で「そろばんフェスタ」を開催しているクラブもあるそうです。

以上、非常に駆け足でのご紹介となりましたが、皆様のクラブで参考になる活動事例はありましたでしょうか？本日は、時間の都合上、駆け足でのご紹介になってしまいましたが、もう少し詳しく内容を聞きたいという奉仕活動がございましたら、遠慮なくお申し出下さい。先ほども申しましたが、いずれも実際にクラブで実施された奉仕活動ですので、もし興味ある活動のもう少し詳しく聞きたいようでしたら、そのクラブをご紹介しますので、お申し出下さい。

『いい奉仕活動はどんどん真似をして、みんなで楽しく奉仕活動をしましょう！！』

以上、第2790地区内の奉仕活動事例のご紹介でした。

ご清聴ありがとうございました。



◆点鐘

堀内正人会長 13時30分

木更津東ロータリークラブ事務局メールアドレス eastkisarazu-rc@nifty.com

【表紙 板谷優作会員のおすすめ】

店舗住所：千葉県木更津市文京2丁目6-35

コメント：木更津市立図書館から歩いて2～3分程のところにある定食屋兼居酒屋さん。写真のアジフライ定食はサクフワなアジフライを4切れも頂くことができます。私であれば、2切れでご飯を食べることができるほどの大きさで満足感はたっぷりですが、お値段は1000円。お店の中はカウンターが5～6席ほどお座敷（4人掛け）が2つと、そこまで広くはないので、少人数で伺うことをおすすめします。

